



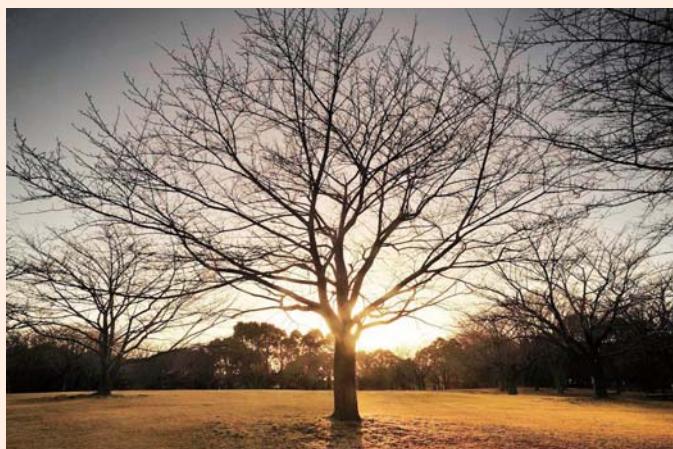
GEKKAN ORIMOTO

月刊 織本

1

2013年1月1日 Vol.221

発行 医療法人財団 織本病院
 印刷 〒204-0002
 東京都清瀬市旭が丘1-261
 TEL 042-491-2121
 URL <http://www.orimoto.or.jp/>
 発行人 高木由利



22名の合唱団が歌った“第9”

理事長・院長 高木由利



寒い寒い夕暮れ。病院4階の西側の窓一面に紅色の空が広がりました。そしてそこに黒々とした美しい富士山が浮かび上がり、まさに日本画の世界です。あの富士山の向こうに今日も頑張っている先生方がいらっしゃるのだと、思わず足を止め美しい景色に見入ってしまいました。

* * *

あけましておめでとうございます。

12月15日は当院恒例のクリスマスコンサートでした。今年は男性合唱に2名の頼もしい団員が加わり、総勢22名の合唱団になりました。何年間も手掛けた曲に加え、今年は新たに“第9”に挑戦したので

す。第9とは、シラーの詩にベートーベンが曲を付けた世界の名曲No.1と言われている大作です。正式には「交響曲第9番ニ短調『合唱』作品125 シラーの頌歌『歓喜に寄す』」という曲なのです。よく年末には第9が歌われ、しかも100人とか1,000人の合唱団、そして10,000人の大合唱が手掛けるまさに大作なのです。

織本病院混声合唱団は22名。世界一小さな合唱団による第9でした。練習期間はおよそ8ヶ月間。毎週月曜や水曜の夜、約1時間半の練習でした。音符も読めない、ドイツ語も読めない、小さな小さな合唱団です。私の実姉、クロイツァー涼子が手取り足取りの指導をしてくれたこと、そして原曲をこの合唱団用に編曲してくれた作曲家、篠田昌伸氏の多大なる努力がなければできなかつたことだと私は考えています。

篠田氏のピアノ伴奏で最終練習が始まったのが本番前の数回でしたが、その伴奏の厚みと迫力に私は足がガタガタと震えてしまい、一体どうやって歌い上げて良いのか分からなくなつたのです。それから毎日この伴奏を頭の中で思い起こ



命がけで第9を歌う合唱団



し、CDでベルリン放送合唱団の演奏を聴きながら気付いたことがあります。篠田氏の伴奏はピアノ伴奏の域を超えて、ピアノでオーケストラ演奏をしていることでした。そのことに気付いた瞬間、私はオーケストラボックスの中で歌える幸せを感じ、声が出て心が落ち着き始めたのでした。

世界中の人が第9を歌うことを望むのは何故かも考えました。シラの詩を読みドイツ語の辞書で調べている内にベートーベンが自分の死を意識して作曲したのではないかと

思ったのです。天使達の歌声、何度も繰り返される言葉“喜こべ”。天国への凱旋を意識した者だけが得られる深い喜びがこの第9から学んだ1番ステキなことでした。そして更に、画家、グスタフ・クリムトは「ベートーベン・フリーズ」と題し、黄金のベートーベンと合唱団を壁画として残したのです。

極めて希有な世界一小さな22名の合唱団の第9を聴いて涙を流されたお客様のお顔を拝見しながら、第9にしかない天国の喜びを私は体験させて頂いたと感じました。



壁画『ベートーベン・フリーズ』

左：裸の女々しい男女が黄金の甲冑をまとった騎士ベートーベンに助けを求める
右：喜こびを見つけ歓喜の歌を歌う女性達

—私の外来に通院されている森田純一さんから頂いた短歌です—

- ・指揮者との舞台の人の息が合い ピッタリ揃う 歌の響きよ
- ・ベートーヴェン この日のために編曲の「第9」を歌う 初公演なり

ブランドと仕事 ⑬

専務理事・事務部長 箕輪 比呂志

新年あけましておめでとうございます。皆様、それぞれの思いで新年をお迎えのことと思います。昨年は、長年、手つかずになっていた外来を中心とした1階エリアと手術室の改装が完了し、清潔で綺麗な環境で昨年10月の60周年記念式典を無事に開催できましたこと、そして幸いに、この地域では大きな災害も無く新たな年を迎えたことにとても感謝をしています。

* * *

2010年11月号から、定期的に月刊織本に「ブランドと仕事」というテーマで投稿してきました。そして現在に至るまで、組織改革、人事異動、最新医療機



器導入、手術室・外来エリア全面改装などを一気に行ってきました。この2年あまりの間に、医師も含めて100人規模の職員の入れ替わりもあり、ここでもう一度「織本病院」と「ブランド」を結び付けて「織本病院ブランド創り」を共有したいと思います。

ブランドという言葉は日本語に直すと、銘柄、商標のことを言い、会計用語では「のれん」というそうです。そう考えると「とらやの羊羹」も日本のブランドのひとつであることは間違いないでしょう。分かり易く言いますと織本病院を「病院事業のブランド」にしたい

ということです。当院は、既に創立60年の歴史がありますので「のれん」と言えるだけの周辺エリアでの知名度があります。そこで、ここからは「ブランドと仕事」について当院の新たなメンバーに加わった皆さんを含めて一緒に考えてみたいと思います。ブランドとは、企業が確立した顧客吸引力、収益力のシンボルであり看板でもあります。「ブランド力」は、例えば次のようなもので測れます。①知名度 ②優れた人材(経営者・従業員) ③技術力 ④老舗など他企業にない企業価値等です。これらの点で圧倒的な存在感を確立することができないとブランドと呼ぶことができると思います。顧客の視点からは、そのブランドでなければ味わえない体験を約束してくれるのです。例えばディズニーランドは、そこでしか味わえない独特の世界を提供し顧客に深い満足を約束しています。ここで大切なことは、そのブランドが持つ独自のビジョン、理念を忠実に事業として再現できていることです。このことが「ファンがファンを増やす」という仕組みに

さえなっています。そして、顧客が感じた満足感を従業員が実感できれば従業員に達成感が得られて新たな行動への活力となり得ます。ですから、同じように私は織本病院の理念とビジョンを忠実に病院業務に再現することが大切なのです。更に、織本病院ブランドを実現するための戦略もあります。ディズニーランドの従業員は、お客様を前に舞台に立っている感覚であり、そこで働くことに誇りを持っているので、笑顔が絶えず、職場に愛情を持っているので掃除も行き届いています。織本病院もこうありたいと思っています。今年も職員一丸となり、実現に向けて目標管理への取り組みを強化していきますので楽しみにしていて下さい。

当院の1階外来待合エリア近くのティーコーナーの柱に「スターウォーズ」での仕事が評価され、独自のスタイルを確立したハリソン・エレンショーンのディズニーエン画が飾ってありますので、しばし鑑賞をして、このことに思いを巡らせてみて下さい。

○ 今月のかべ新聞 ○

低たんぱく食事療法

身体を作る
→たんぱく質→エネルギー→水・二酸化炭素・毒素
炭水化物 →エネルギー→水・二酸化炭素
脂質 →エネルギー→水・二酸化炭素

代謝産物の出口は?

水 ... 腎・肺・腸・皮膚から排泄されます。
二酸化炭素 ... 肺から排泄されます。
毒素 ... 腎からしか排泄できません。

たんぱく質は体の中でエネルギー源として利用される一方、その燃えかすとしていろいろな有害物質が体の中に入ります。この有害物質は腎臓を通して尿中に排泄されますから腎臓の負担を軽くする方が大切です。炭水化物と脂質はしっかりすることでエネルギーとして燃えてくれます。そのためたんぱく質は燃えずに栄養にまわります。栄養状態が良くなり体内環境が整います。これを「たんぱく質節約作用」といいます。

低たんぱくの治療用特殊食品

- ①低甘味糖重合体製品:甘味が砂糖の1/5で5倍食べられエネルギー!
- ②中鎖脂肪酸製品:脂っこく消化吸収がよくならない!
- ③たんぱく調整食品:たんぱく質含有量を1/2にした米めんパン・小麦粉など
- ④でんぶん製品:でんぶん粉末のみで作られたエネルギーが十分で
(もはや重要です) たんぱく質をほとんど含まない食品

でんぶん製品が重要な理由

- ①たんぱく質・リン・カリウムをほとんど含まない
- ②食品素材である
- ③エネルギー量が十分に多い
- ④どんな献立もできる・主食・おやつ・副菜・汁物・菓子など
- ⑤穀類の無駄なたんぱく質をおかず回せるため献立が豊かになる
- ⑥食事全体のたんぱく質(アミノ酸スコア)が高くなり栄養障害になりにくくなる
- ⑦血糖値が上昇しない
- ⑧中性脂肪が上昇しない
- ⑨たくさん(いくらでも)食べられる

由利院長が作ったでんぶん料理

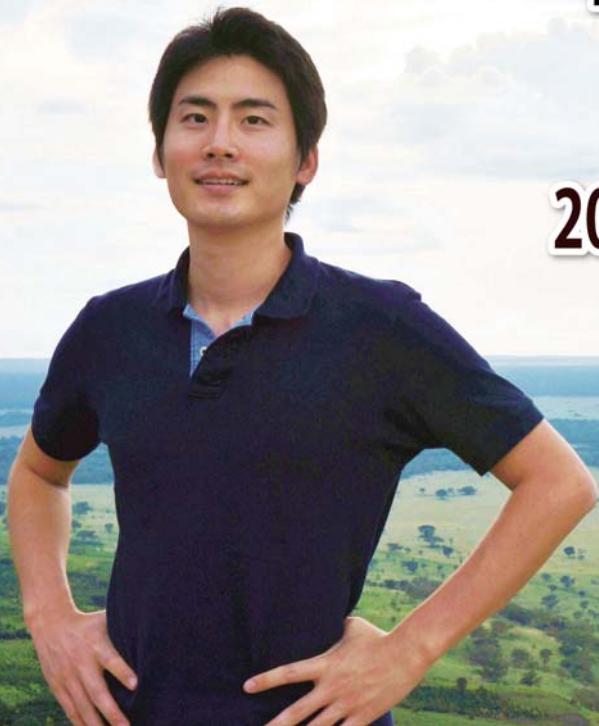
でんぶん製品を初めて食べる方への忠告
・慣れない間は多少苦痛を伴う
・しかし、必ず慣れる
・おいしく食べる調理法のコツがある
→調理方法を栄養士から指導を受けてから食べよう
・自分嗜好に調理を試して食べ好み



第140回腎疾患ゼミナール新春特別講演会

美しく老いるために

講師：滝山聖書バプテスト教会
牧師 片村 襟舎 氏



2013年1月17日(木)
12:30開場 13:00開演
オリモトホール(当院4F)
入場無料

糖尿病教室のお知らせ



第19回 1月8日(火)

- 糖尿病をもっと知ろう「①フットケア ②災害時の対応」 講師：看護師
- 糖尿病とインスリン 講師：薬剤師



第20回 1月22日(火)

- 外食の選び方について考えよう 講師：管理栄養士
- 糖尿病に対する運動療法 講師：理学療法士
- 糖尿病の検査 講師：臨床検査技師

時 間：午後1:00～1:45

会 場：第1会議室(当院4F)

参 加 費：無料

予 約：不要(直接お越しください)

たくさんの方のご参加をお待ちしております。